

令和 5 年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立向島中学校	校長	本安公範	生徒指導主事	山岡歩未
取組事例名	『 歌島祭（文化祭）〈思いをのせて～Sing for everyone～〉 』				

1 取組の設定

取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
・ 望ましい人間関係を形成し、集団の一員としてよりよい学校生活づくりに参画しようとする意識を育てる。また、協力して諸問題を解決しようとする自主的、実践的な態度を育てる。 ・ 主体的に考え、判断し、表現できるようにする。 ・ 感動体験を仲間と共有し、自己肯定感を高める。 ・ ステージ発表や展示などを通して、これまでの様々な学習をまとめ、振り返る場とする。	・ 志高く挑戦し続ける生徒 ・ 多様性を尊重し、かかわり合える生徒 ・ 失敗を恐れぬ元気さをもつ生徒 ・ 新しい発見から学びを深められる生徒



2 展開

取組の具体的内容	取組の創意工夫
①学年合唱 ・ 今年度からコロナ前の状況に少しずつ戻す形となり、各学年での合唱を行った。 ・ 各クラスからパートリーダーを募り、リーダーが中心となって昼休憩や放課後に、クラスや学年での合唱練習を行った。 ・ 学年練習終了後にはパートリーダーが集まり、課題を洗い出し、次の練習につなげるための取組を考える反省会を行った。	生徒にめあてをもたせるために ・ コーヒープロジェクトでは、実際に地元の珈琲屋さんに来ていただき、取組の目的等（経験することの大切さを感じてほしい、経験を通して広い世界に目を向けてほしい）について語っていただいた。
②リメイクファッションショー（文化祭発表） ・ SDGs の「5 ジェンダー平等を実現しよう」、「12 つくる責任つかう責任」を意識して、性別にとらわれず着たい服を自由に着られる世界になってほしいという願いを込めて、古着から新しい服を作成した。作成した服を生徒や先生に着てもらい、ファッションショーを行った。	生徒の意欲を高めるために ・ 合唱練習では、リーダーを中心に取組が進められるように、反省会等を開き、生徒の不安や悩みに耳を傾け、アドバイスを行った。
③向島中美術部コーヒープロジェクト（文化祭発表） ・ 地元の珈琲さんとコラボし、「珈琲と一緒に過ごしたい、尾道の風景」をテーマにパッケージのデザインを考える取組を行い、この取組について発表を行った。	生徒の頑張りを認め、価値付けるために ・ リメイクファッションショーでは、自分たちが伝えたい内容が見ている人にきちんと伝わるように、事前にクラスを回って発表の趣旨等を説明する機会をつくった。



3 成果と課題

歌島祭後のアンケートでは、次の項目の肯定的評価の割合が増加した。『周りから認められている（71%→74%）』、『互いの個性を認め合っている（83%→86%）』、『自分の考えを深めたり、広げたりしている（77%→83%）』。互いを認め合い、学びを深められる集団となってきたと思われる。一部の生徒だけではなく、生徒全体を巻き込んだ取組となるような工夫を考えていきたい。